

まだらの風



2021年10月7日
学校便り No.11
校長 原 寛喜

『思いやりをもち（徳）、自ら学び（知）、心身を鍛え（体・情）21世紀を生き抜く児童生徒の育成』
～自分を愛し、他人を愛し、島を愛する児童生徒に～

◆海上保安庁ワークショップを実施しました◆

9月22日（水）に小学生を対象とした海上保安庁ワークショップを行いました。当日は、「巡視艇いきぐも」が来島し、1～4年生は巡視艇見学、5・6年生は教室で海上保安庁の仕事内容の後、巡視艇見学、指紋採取体験を行いました。担当の方が、「巡視艇の中を見学できることは稀なことで、馬渡小学校の児童は恵まれている。」と話されました。子どもたちも貴重な体験ができ、有意義な時間を過ごすことができました。



◆全校朝会より◆

9月29日（水）に全校朝会を行い、校長の話として「周りの人と円滑なコミュニケーションを保つために、人の気持ちを理解することの大切さ」について話しました。具体的には、「もし、自分が相手だったらと考える。」「相手にとってメリットになることを想像する。」「相手の気持ちをしっかり受け止めてから言葉を選ぶ。」「思いやりをもった行動をする。」「自分がされて嫌なことはしない。」「空気を読む。」「相手を傷つけてしまった場合はどのような原因なのかを考える。」の7点について話しました。

馬渡小中学校の児童生徒は日ごろからこれらを自然と出来ていることが多いのですが、時には考えてみることも必要だと思います。これからもスムーズなコミュニケーションで楽しい学校生活を送ってほしいです。

1. もし自分が相手だったら？
と考える



7. 相手を傷付けてしまった場合は、
どのような原因なのかを考える



◆イングリッシュデーを実施しました◆

10月6日（水）に小学5年生～中学3年生を対象にイングリッシュデーを実施しました。3人のALTに来校していただき、ゲームやお菓子作りを通してALTの先生と親交を深め、英語に親しむことを目的にしています。時間中は英語のみの会話でしたが児童生徒はすぐに打ち解け楽しい時間を過ごしました。改めて子どもたちの対応の早さに感心しました。



時間中は英語のみの会話でしたが児童生徒はすぐに打ち解け楽しい時間を過ごしました。改めて子どもたちの対応の早さに感心しました。

10月6日（水）に小中学校朝会を行いました。小学校朝会では永淵教頭が、絵本「ペツェッテイーノ」を題材に、「自分という人間は、世界に一人しかいない大切な存在です。」「友だちがうれしいと自分もうれしくなるような学校にしよう。」と話されました。中学校朝会では、校長がノーベル物理学賞を受賞された真鍋さんの話題を取り上げ「継続することの大切さ」と「誰かを支えたり支えられたりしながら生きている。特に支える気持ちをもとう。」という話をしました。

学校便りや各種通信にお子様の写真や名前の掲載を希望されない方は、校長までご連絡ください。